

新入職員を迎えて

今春、37名の新入職員を新しい仲間として迎えることができました。

当院は昭和57年、1982年に、ここ大津市御殿浜に開設し、およそ40年の歴史を刻んできました。この間、移り変わる医療環境の変化に対応しつつ、6年前に、回復期リハビリテーション病院への全面的な医療機能の転換を行い今日に至っています。しかしながら、新型コロナウイルス感染症の拡大が当院をも巻き込み、その対応に追われる時期が繰り返し襲いました。今日、ようやく出口が見えてきましたが、決して気を緩めることなく、引き続き感染対策に留意し、安全、安心の医療の提供に日々努力していきたいと思えます。

一方、このような状況にはありましたが、当院の将来に向けての病院づくりにも努めてきました。昨年には日本医療機能評価(リハビリテーション病院)認定の更新、かつ専門的な「高度・専門リハビリテーション(回復期)」部門への挑戦に見事合格し第三者機関から当院の質の高い安心・安全な医療の提供が評価されました。他にも11月には院内の電子カルテの更新を行い、システムの不具合の解消を通して効率の良い業務の実現を図りました。

病院の質を高めるため今後も職員一同、引き続き取り組んで参る所存です。

当院は更なる次のステージに向かい、地域からよりいっそう信頼される病院づくりをこれからも進めます。その基礎である組織は人で成り立っています。その原動力は全職員のチームワークです。「病院の質」は、「病院職員の質」です。職員一同、自己研鑽を積み重ね、プロフェッショナルとしての技術を磨き、病院の発展にそれぞれの職場で尽力していきます。

理事長 坂口 昇



Photo by takeshi's

電気刺激療法

電気刺激療法とは、体に電流を流すことにより治療効果を得ようとするものの総称です。電気刺激療法によって得られる効果は様々あり、筋力の向上や筋萎縮の予防、痛みの軽減、日常生活動作の獲得などがあるとされています。

当院には電気刺激療法の機器として、IVES、ESPURGE、G-TESなどがあり、訓練に活用しています。

これらの機器を使用することで、より効率的に訓練を行うことができ、早期の自宅退院へ繋がった例もあるため、引き続き活用していきたいと考えています。

理学療法士 八里亮太

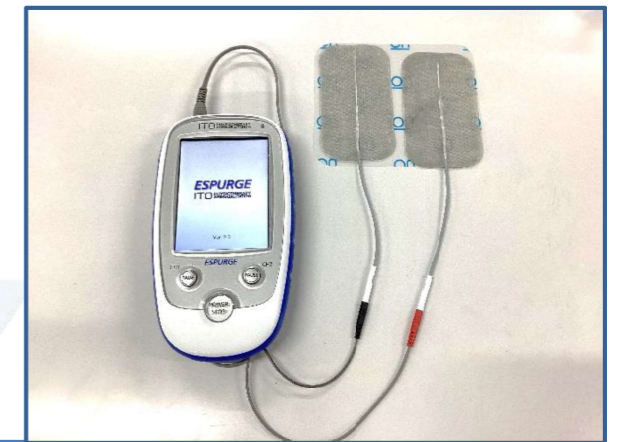


IVES

IVESは麻痺などにより動かしにくい筋肉に対し電流を流すことで関節運動の補助をしてくれる機器です。これを使用することにより困難であった動作の獲得が期待できます。

ESPURGE

ESPURGEは痛みの軽減や損傷部位の治癒促進、筋肉の運動が行えます。持ち運び可能で、訓練時間外での使用も可能となっています。



G-TES

G-TESは両足の太もも、膝、足首にベルトを巻き、各ベルト間に電流を送ることで下肢全体の筋収縮を促し、筋力向上や循環の改善が見込める機器です。





美味しく減塩するコツ

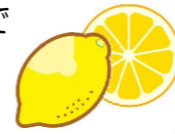
栄養科一同

香辛料や香味野菜を 利用しましょう

 香りのある野菜やスパイス、唐辛子、ハーブなどで味にアクセントをつける

酸味を利用しましょう

 酢や柑橘などの酸味で味のメリハリをつける



作る時のコツ

献立にメリハリをつけましょう

 全てが薄味だと物足りなく感じるので、1品は普通の味付けにすると食事の満足度が高まる



汁物はだしをきかせて 具を増やしましょう

 だしの旨味を上手に利用して減塩の効果大。汁物は野菜を入れて具たくさんに。



具を増やすと野菜も摂れて、汁が少なくて済む

食べるときに 味付けしましょう

 下味をつけずに調理して、食べるときに小皿に入れて塩や醤油をつける



表面の塩味の方が感じやすい。直接かけるとしみ込んで摂取量が多くなる

食塩を多く含む食品は 控えましょう

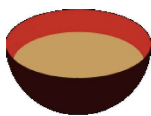
 漬物や練り物などの加工食品は食塩を多く含むので要注意。



食べる時のコツ

汁物の汁を 残しましょう

 塩分を含む汁は残すようにして、汁物は1日1杯までに



「減塩」と安心してかけすぎない

減塩食品を 利用しましょう

 減塩醤油など、塩分を減らした食品の利用。利用量には気をつける。



出前 講座

お茶の間教室「はつらつサロン」

◎大工町サロン ご参加の皆さんと◎

3月4日、春の足音が聞こえだした暖かい日、京都信用金庫 膳所支店フロアにて、大工町の皆さんと「はつらつサロン」を行いました。

昨年の医療福祉講座に続き、二度目のお声がけをいただいたの出向です。今回はリハビリスタッフ同行で『膝』『肩』『腰』の体操や、認知症予防体操、お家でできるタオル体操など体操三昧で、皆さんといい汗を流し、楽しい時間を一緒にできました。

大工町では、地域住民による音楽会を開催されるなど、それぞれの「得意」を持ち寄って、皆で楽しむ素敵なサロンを展開されているそうで、素晴らしい地域力から学ぶことばかりです。

大工町の皆さん、ありがとうございました。

作業療法士 岡崎 匠真
 社会福祉士 上嶋 美由紀



病棟からこんにちは④

小さなほのぼの音楽会♪

この度、4月3日に当院2B病棟にてギター演奏会をさせていただきました。懐かしの名曲を患者さん・スタッフと共に歌唱し、初めての試みでしたが大盛況の下、終える事ができました。

皆さんの力強い歌声・笑顔・中には涙されている患者さんの姿を見て、感じて、歌の力の凄さを改めて実感致しました。

地域活動(出張講座)にも参加することがあり、この活動が日々の生活やリハビリに加え、心のリハビリにも繋がると嬉しく思います。

事務 神戸辰哉

琵琶中の
“ギターのお兄さん”



【病院理念】

慈(めぐみ)の源“マザーレイク”のように、私たちは地域の皆さまの心と体のよりどころとなるよう努めます。

【基本方針】

1. すべての職種が協働し、生活を支えるリハビリテーションの実践に最善をつくします。
2. 患者の意思を尊重し、科学的根拠と倫理観に基づき、安全と安心の医療を提供します。
3. 医療・介護・福祉連携を推進し、地域包括ケアシステムの推進に貢献します。
4. すべての職種のたゆまぬ研鑽により、質の高いチーム医療をめざします。
5. 人材の育成に努めるとともに、職員が働きがいと充実感の持てる職場づくりをめざします。